

◎評価結果の分析と今後の取組み

評価 ▲（目標値が未達成で、前年度より改善していないもの）となった指標の状況

○基本施策 3-2 水、土壌・地盤環境の保全

●施策 3-2-1 水質汚濁の防止

指 標	平成 26 年度 基準	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 現状・評価	令和 7 年度 目標	担当課
工場・事業所排出水の規制 基準の適合率	99.2%	98.8%	98.7% 評価：▲	100%	環境課

【要因】

公害防止協定を結ぶ 46 工場 63 排水口で年 1 回延べ 468 項目について調査を行い、5 社延べ 6 項目において規制基準の未達成が確認された。工場に原因究明・改善計画等の提出を求めた結果、処理施設の管理不十分が原因であった。その後、5 社とも改善され、基準値を下回っていることが確認された。

【今後の取組み】

定期的に測定を実施していくとともに、規制基準未達成の工場に対して、施設設備等の維持管理や、生物化学的酸素要求量（BOD）等の水質汚濁防止法に指定される物質が基準値以下になるよう対策の徹底を指導していく。

○基本施策 4-1 環境教育・環境学習の推進

●施策 4-1-2 環境学習の様々な機会の提供と支援

指 標	平成 26 年度 基準	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 現状・評価	令和 7 年度 目標	担当課
真岡市リサイクルセンター 施設見学者数	—	69 人	24 人 評価：▲	450 人	環境課

【要因】

自治会等の利用団体数は横ばいであったため、比較的人数の少ない自治会等による施設見学の実施があったと考えられる。また、真岡市リサイクルセンターの施設見学者数は昨年度より減少しものの、令和 4 年度のせん定枝・落ち葉・草の搬入量は 1,294t となっており、昨年度より 101t 増加している。

【今後の取組み】

真岡市リサイクルセンターの施設見学は 3R 推進に重要な役割を果たしているため、ホームページ等を有効に活用し、団体利用の増加に繋がるように努める。